



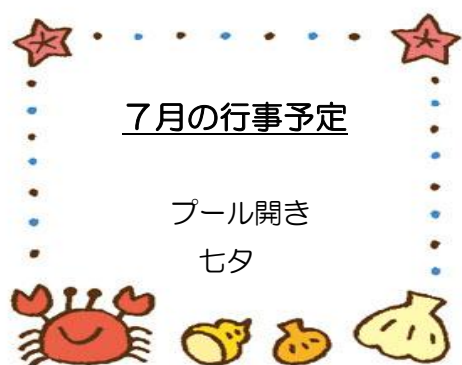
7月の園だより

令和8年7月1日
目黒区立八雲保育園園長

先日、『やくもまつり』を行いました。やくもまつりの取り組みでは、5歳児クラス担任が子どもたちにおみこしの写真やイラストを見せています。子どもたちは「キラキラして、かっこいいね」「おみこしの上には大きな鳥をつけるのはどう」とイメージを膨らませていました。友達と相談して役割分担をして、パーツごとに折り紙で大きな鶴を作ったり、金銀の折り紙を丸めて鈴、花紙で花を作り装飾して2基のおみこしを作りました。盆踊りも中心となり1歳児クラスの前にきて、小さい友達の見本になって踊り、小さい友達も曲に合わせて体をゆらす姿が、かわいかったです。

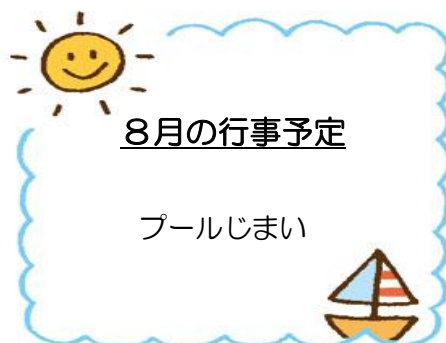
やくもまつりのスタートはおみこしです。5歳クラスの子もたちは大きな声で元気一杯に「わっしょい、わっしょい」と自分達で作ったおみこしを担ぎ、小さい子どもたちや職員も掛け声を掛け合い、開始から盛り上げました。お店屋さんはおばけやしき、金魚すくい、やきとりやさんが開店し、「いらっしやいませ」と声をかけるとたくさんのお客さんが来て大盛況でした。子どもたちは行事を通して友達とつながり、経験したことが自信になることと思います。八雲保育園の顔となり、今年一年の活躍に期待したいと思います。

今月はプール、水遊びが始まります。暑さ指数や水質の管理をしっかりと行い、安全に夏ならではの遊びを十分に楽しんでもらいたいです。



7月の行事予定

プール開き
七夕



8月の行事予定

プールじまい



『雨上がりの大発見』 幼児クラス

先日、雨上がりの砂場で穴掘りに夢中な子どもたちから「わあー！池ができちゃった！」と歓声があがっていました。保育士も一緒に顔を近づけて覗き込むと、底から自然に水が湧き出ていました。

「なんで」「どこから来たんだろう」とじっと見つめる瞳は真剣そのものです。水の不思議に出会った瞬間でした。その後は「もっと大きくしよう！」とその穴をさらに大きく掘り進めて、自ら水を流し込んでいつもの水路作りへと繋げて、「気持ち良いね」とダイナミックに泥に触れて感触も楽しんでいました。

子どもたちの「不思議だな」「おもしろいな」というきらめく発見をこれからも大切に共有していきたいと思っています。



感触遊びって面白い！

『砂って不思議！』 めだか組(0歳児クラス)

めだか組の子どもたちにとって、園庭は初めての感触がいっぱいです。砂場で保育士が型抜きを作ってみせると、興味津々で近づいてきて“えいっ”というように手を伸ばし、砂の塊を崩しています。手についた砂を不思議そうにじっと見つめ、手をぎゅっぎゅっと握ってみたり両手をぎこちなく擦り合わせていました。「お砂ざらざらだね」と声をかけながら保育士も一緒に砂を握ってみると安心したように笑顔を見せ、再び砂に手を伸ばして何度も型抜きを崩して楽しんでいました。これからも保育士と一緒に遊びながら様々なものに触れて、その中で感じる不思議さ、面白さ、心地よさに共感していきます。



『チョンチョン、パタパタ』 あひる組(1歳児クラス)

初めての見た指絵の具のトロトロ感や目や色合いに「何だろう」と覗きに来る子ども、保育士の傍で様子を見ている子もいました。「ほら、こうやって指につけて、えい！」と保育士が紙にチョンチョンと絵の具をつける様子を見せると、子どもたちも思い切って絵の具の入った器に指を入れ、紙に指を滑らせます。「あ、色がついたね！」と声をかけると、色を付けた場所を見て笑い、嬉しそうに保育士と視線を合わせていました。慣れてくるとだんだん大胆になってきて、手のひらいっぱい絵の具をつけ、パタパタと模様をつけて楽しんでいました。一人ひとりのペースに合わせていろいろな感触遊びを楽しんでいます。子どもたちの作品は素敵な花になってクラス前に飾る予定なので、ぜひご覧ください。



『何ができるかな』 らっこ組(2歳児クラス)

小麦粉の粉を触った時に白くなった手を見て、慌てて粉を払い落としていました。でもボウルに入った小麦粉に水を足して混ぜていくと“触ってみたい”と興味津々です。「やわらかいね」と感触を確かめて、指で押したり叩いて広げたり、ちぎって並べて遊んでいます。粘土を引っ張ると、伸びた様子を見て「蛇だよ」と言ったり、広がった形を見て「ジョーズだよ」「ハンバーガー、食べて」と話しながら自分のイメージで見立てて遊んでいます。感触だけではなく、形から想像したり、見立ててみたり、保育士も子どもの発想に共感しながら一緒に楽しんでいきたいと思っています。

